



かたち shop & gallery 象

アートと人が交わる場 重伝建の魅力深める柔軟な”かたち”

「アーティストによって色々な”かたち”になれば」。そう話すのは、本町一丁目のショップ&ギャラリー「象（カタチ）」のオーナー・丸尾万象さんだ。重伝建地区で築125年の古民家を改修し、雑貨販売とカフェスペースを備えたアートギャラリーを2022年2月にオープンした。万象さんは彫刻家の父・康弘さんと画家の母・多輝子さんの元で感性を育んだ。自身は「絵は描けません」と笑うが、アートのある豊かな暮らしが、象のコンセプト「アートと人が交わる場」につながっている。「アート＝難しい」というイメージを払しょくし、もっとカジユアルにアートに触れてほしいという思いから、古民家の雰囲気を活かしてリノベーションを施した。襖や柱を活用した展示や腰を掛けながらお茶を楽しめる縁側など、誰にでも居心地が良いギャラリーに仕上げている。



【shop & galley 象】

- 住所／桐生市本町1-1-3
- 電話／0277-32-3648
- 営業時間／11：00～18：00
- 定休日／火曜・水曜日（不定休あり）
- @katachi.kiryu

「アーティストによって色々な”かたち”になれば」。そう話すのは、本町一丁目のショップ&ギャラリー「象（カタチ）」のオーナー・丸尾万象さんだ。重伝建地区で築125年の古民家を改修し、雑貨販売とカフェスペースを備えたアートギャラリーを2022年2月にオープンした。万象さんは彫刻家の父・康弘さんと画家の母・多輝子さんの元で感性を育んだ。自身は「絵は描けません」と笑うが、アートのある豊かな暮らしが、象のコンセプト「アートと人が交わる場」につながっている。「アート＝難しい」というイメージを払しょくし、もっとカジユアルにアートに触れてほしいという思いから、古民家の雰囲気を活かしてリノベーションを施した。襖や柱を活用した展示や腰を掛けながらお茶を楽しめる縁側など、誰にでも居心地が良いギャラリーに仕上げている。

「アートの発表の場に。一角では康弘さんの故郷・熊本県で仕入れてきた雑貨や食品、伝統の和紙工芸などを販売し、今後はアートの分野でも桐生と熊本の交流を進めていく考えだという。

カフェで提供するコーヒーは、喫茶店を経営したこともある康弘さん直伝。「来店者のきっかけになれば」と、ネルドリップで丁寧に淹れるコーヒーが間口を広げる。

「まだオープンしたばかり。これからも変化を楽しみながらやっていきたい」と話す万象さん。柔軟な”かたち”が、アートを切り口に歴史エリアの魅力を深めている。